

中川 晶一朗

「春の実体」

モチーフになった作品：
萩原朔太郎「月に吠える」

紙、アクリル着彩
価格：Sold



中川 晶一朗 NAKAGAWA Shoichiro

1984年 広島生まれ

広島芸術専門学校で油絵を学ぶ。
近年は、自作の詩と絵画を紐付けした
作品を制作している。

「月に吠える」より

春の實體

かずかぎりもしれぬ蟲けらの卵にて、
春がみつちりとふくれてしまった、
げにげに眺めみわたせば、
どこもかしこもこの類の卵にてぎつちりだ。
櫻のはなをみてあれば、
櫻のはなにもこの卵いちめん透いてみえ、
やなぎの枝にも、もちろんなり、
たとへば蛾蝶のごときものさへ、
そのうすき羽は卵にてかたちづくられ、
それがあのやうに、ぴかぴかぴかぴか光るのだ。
ああ、瞳(め)にもみえざる、
このかすかな卵のかたちは楕圓形にして、
それがいたるところに押しあひへしあひ、
空気中いつばいにひろがり、
ふくらみきつたごむまりのよに固くなつてゐるのだ。
よくよく指のさきでつついてみたまへ、
春といふものの實體がおよそこのへんにある。